



# あたらしい本のご案内

ほん

あんない

9月



## 子ども・YA

<p>10ぴきのおばけのたんじょうび <span style="float:right">Eニシ</span></p> <p>おじいさんといっしょにくらしているおばけたち。あるひ、おんなのこに、おたんじょうびをきかれたけれど、だあれもこたえられないよ。おばけのおたんじょうびっていつかな？ (にしかわおさむ作 ひかりのくに)</p>	<p>おかあさん ありがとう <span style="float:right">Eミヤ</span></p> <p>おかあさん、えんそくするとき、おべんとうをつくってくれたり、かぜをひいたとき、ねないでずっとかんびょうしてくれてありがとう。たくさんありがとうがでてくるえほん。(みやにしたつや作 みつむらきよういくとしよ 光村教育図書)</p>
<p>父さんはどうしてヒトラーに投票したの <span style="float:right">K234テ</span></p> <p>ルディは、ドイツでがつき店をいとなむ両親と、障がいしゃの妹の4人ぐらし。1933年、ヒトラーがせいけんのぎにつくと、ルディの生活はどんどんかわりはじめた。(ディディエ・デニクス作 解放出版社)</p>	<p>こどもしょくどう <span style="float:right">K913ヒ</span></p> <p>車の中でねとまりする姉妹とであった小学5年のユウト。おなかをすかせた姉妹に食べものをわたすために、ユウトは晩ごはんのおかずを集めることにして…。(ひろはたえりこ文 汐文社)</p>
<p>とんでもない甲虫 <span style="float:right">486.6マ</span></p> <p>ダンゴムシみたいに丸まる「マンマルコガネムシ」、キラキラと輝く「ブローチハムシ」、4つの眼中も空中も同時に見える「ミズスマシ」。姿かたちも様々な甲虫を紹介。(丸山宗利編 幻冬舎 一般)</p>	<p>お願いおむらいす <span style="float:right">Fナカ</span></p> <p>悩みはつきないけれど美味しいものを食べて元気をだそう！ あらゆる食のお祭り《ぐるフェス》に集う人々の人生模様を描く、心がふわっと温まる運作短編集。(中澤日菜子作 小学館 一般)</p>

## 一般・実用

<p>小説 <b>へぼ侍</b> <span style="float:right">Fサカ</span></p> <p>明治維新で没落した大阪の与力の跡取り・鍊一郎は「へぼ侍」と揶揄されていた。1877年に西南戦争が勃発すると、仕官の道が開けると考えた鍊一郎は、意気込んでそれに参加するのだが…。(坂上泉著 文藝春秋)</p>	<p>小説 <b>途中下車はできません</b> <span style="float:right">Fヤマ</span></p> <p>黒歴史を持つカフェの美人のオーナー、行方不明になった祖母を探す大学生、偽装自殺を企ててさまよう男…。北海道の5つの駅をめぐる出会いと別れと謎解きの、ハートフル・トレインミステリー。(山本巧次著 小学館)</p>
<p>小説 <b>黄金夜会界</b> <span style="float:right">Fハシ</span></p> <p>資産家に最愛の人を奪われた東大生・貫一は、一夜にして金と家を失い、いつしか金の悪鬼となった…。尾崎紅葉の絶筆作「金色夜叉」を現代によみがえらせた、橋本治の遺作。(橋本治著 中央公論新社)</p>	<p>小説 <b>いけない</b> <span style="float:right">Fミチ</span></p> <p>友達いない少年が目撃した殺人事件は本物なのか？ それとも偽物か？ 各章の最終ページをめくると現れる地図や写真の意味がわかった瞬間、物語の別の顔が見えてくる驚愕のミステリー。(道尾秀介著 文藝春秋)</p>

書名	著者名	ジャンル	ラベル
声に出して読む渋沢栄一「論語と算盤」	斎藤孝	経営	335.1サ
ヘアゴム1本で無敵アレンジBOOK	sweet編集部	美容	595ハ
ゴミ清掃員の日常	瀧澤秀一	エッセイ	726.1タ
江戸っ子漱石先生からの手紙	渡邊文幸	随筆	9102.7

◆◆◆貸出し中の場合は予約ができます◆◆◆